

HUMAN RIGHTS

人権・同和教育だより
第 5 号
平成 28 年 2 月 24 日発行

*「HUMAN RIGHTS」(ヒューマン ライツ)とは「人権」という意味です。

1月22日(金)に3年生の人権・同和教育ホームルーム活動が行われました。今回のテーマは「差別をなくすための私たちの取組」で、3年間の学習の確認を行い、その成果から同和問題をはじめとする様々な人権問題解決のために、どのような態度が必要かを考えました。クラスごとにホームルーム活動の感想をいくつか紹介します。

3年1組



<生徒の感想>

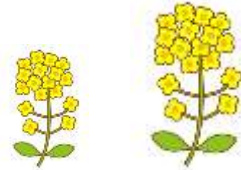
差別をなくすために私たちができることは、学習した内容を正しく広めることだと思う。人権問題について学んだ私たちだからこそできることだと思うので、社会に出てから行動していきたい。

高校に入るまでに勉強してきたことを含め、新たに勉強になったことや、今まで聞いたことはあっても深く考えたことのなかったことなど、様々な問題について勉強できた。

人権の大切さ、差別の不当さを学ぶことができた。また、差別を人ごとだと思わず、自分自身の問題として考え、差別をなくしていく努力をしたい。

人権に関する学習を通して、差別は本当にはあってはいけないものだと感じた。差別を絶対にしないように生きていこうと思う。そして、自分の周囲の人に対する感謝の気持ちを忘れないようにしたい。

これから先いろいろな人に出会うだろうが、思いやりと相手を理解しようとする気持ちを大切にしたい。



3年2組



<生徒の感想>

卒業後も、時々自分を振り返って、自分が差別につながる言動をしていないか確認するようにしたい。

私たちの世代で差別をなくせるように、みんなが理解して向き合っていくべきだと感じた。自分が周りから優しくされたかったら、まずは自分から周りを見て行動すると、自分にも良い生き方ができると思った。

差別をして自分以外の人を見下して生きるような人間にはなりたくないし、周りにそんな人がいても、止めてあげられる人間になりたいと思った。

知らず知らずのうちに関人に傷つけていることに気が付けるようになりたい。常識と、周囲の人への気遣いを忘れない大人になりたいと思う。



3年3組



<生徒の感想>

人権を守るために、広い視野を持ち、そして、ちがいを認め合い、一つの社会を作っている意識を一人一人が持つことが大事だ。



自分の考えのまま行動すると自己中心的になってしまう。一人一人の意見を尊重でき、且つ一人の意見に縛られず、自分らしく生きる、ということを実践していきたい。

身近なところに差別が潜んでいること、理解を深める大切さを学べた。もっと人権について学んでいきたいし、思いやりを持って人と接していきたい。

3年4組



<生徒の感想>

これから社会に出るにあたって、就職差別と結婚差別について学んだことが良い勉強になった。これから先、差別をなくすために、次世代に伝えていきたいと思った。



相手がどう思っているか気持ちを読み取ることは難しいが、それは大切なことで、それを分かろうとすることは自分の気持ちを知ることにもつながるのではないかと思った。このようにみんなが人の気持ちを考えようとしていくことで差別はなくなり、「幸せ」になれるのではないだろうか。だから私は、これから関わる人たちとよりよい関係を築くために、人の気持ちを一番に考えていこうと思う。

卒業する皆さんへ



3年生対象 人権・同和教育アンケート結果（抜粋）

- Q1 高校での人権・同和教育について、どう思いましたか。
知識としては身に付いた・・・59.3%
差別を解消するための努力をしていく気持ちが生まれた・・・40.0%
- Q2 人権・同和教育のホームルーム活動の時間は、どうでしたか。
真剣に考えることができた。・・・85.3%
- Q3 人権・同和教育が進むことが、みんなの幸せにつながると思えますか。
そう思う・・・73.3%
- Q4 結婚観について、あなたの考えはどうですか。
本人同士の合意に基づき決める・・・73.3%
- Q5 高校卒業後、人権・同和教育の学習にどのように取り組もうと考えていますか。
講演会や人権コンサートなど、機会があれば進んで参加したい。
・・・18.7%
誰かから講演会や人権コンサートに誘われれば参加したい。
・・・52.7%

無知・無関心のままでは差別は決してなくなりません。ある研修会で、「人権・同和教育問題について人ごとと捉えている人は、差別や偏見を温存している人で、その人たちは新しい差別を生んでいる。」と教えられました。皆さんの学習の成果は、卒業後の長い人生の中で試されます。人権・同和教育の学習は生涯学習です。学び、考えることに終わりはないのです。高校の学習の中でたくさんの知識を皆さんは身に付けました。毎年の講演会では講師の先生の体験談を聞き、差別やいじめの現実を知り、胸が熱く苦しくなりました。涙を流したときもありました。

「玉磨かざれば光なし」

常に自分の人権感覚を磨いていってください。そして皆さん周りには、同じ思いを持つ仲間がいることを忘れないでください。